

6: 歯茎などから膿(うみ)が出る

歯茎(歯肉)から出血すると歯周病の大きなサインですが、さらに症状が進行すると膿が溜まり、痛みを伴うようになります。もちろん歯医者で膿を出してもらえば一時的に痛みは治まりますが、歯周病を治さない限り膿は溜まり続けますので、やはり歯周病を完治させるしかないのです！

7: 硬いものを噛むと痛い

歯周病になると歯を支えている周辺組織が侵されますので、おせんべい、リンゴなど硬い物を噛むと歯周組織が歯を支える事ができなくなるため、痛みを生じる事があります。



8: 歯がグラグラする

歯周病になると歯周組織が侵され、骨、歯根膜などが溶かされて行きますのでより歯がグラグラしてきます。

指で触ってグラグラするようであればかなり歯周病が進行している可能性がありますので一刻も早く歯医者に行きましょう！

9: 歯茎が下がって歯が長く見える(出っ歯になった)

歯周病になると歯周組織が侵され、歯肉が後退して行きますので歯が長くなったり、昔よりも出っ歯になった気がすることがあります。

10: 歯と歯の間の隙間が大きくなり、物が挟まりやすくなった

歯と歯の隙間が大きくなるため物が挟まりやすくなったり、歯並びが悪くなってきたり、歯が浮いた感じがしたり、噛み合わせが悪くなる事があります。

11: 糖尿病にかかっている

糖尿病になるとさまざまな合併症が起こり、歯周病になっているというデータもありますので、糖尿病の方は歯周病も疑ったほうが良いかもしれません。

歯周病であれば早め早めに治療をしていく事が何よりも大切です。



ごきげんデンタルクリニック

